

主要データの推移および分析

# 主要データの推移および分析

## 中期計画の変遷と10年主要データ



- 「新生東京応化」の構築**
- 構築の方向性:**
- ワールドワイドでのマーケティング力の強化
  - 技術開発のさらなるスピードアップ
  - 新事業の早期確立
  - グローバル戦略を加速し、世界シェア拡大に邁進

- tok中期計画2015**
- 目標:**
- 過去最高益の更新
  - 持続的成長の基礎となる事業基盤の強化
- 戦略:**
- 各地域のユーザーとの密着戦略
  - 事業ポートフォリオの変革
  - グローバル人材の開発

- tok中期計画2018**
- 戦略:**
- 事業ポートフォリオの変革
  - 顧客密着戦略の進化
  - グローバルに対応できる人材の開発を推進
  - 経営基盤強化

- tok中期計画2021**
- 2020年12月期までの長期ビジョン:**
- 「高付加価値製品による感動を通じて、世界で信頼される企業グループを目指す。」
- ポイント:**
- 事業ポートフォリオの変革を強化
  - 成長軌道への回帰
  - バランスシートマネジメントを強化、新たな配当方針導入

2017年までの各年3月31日および

2017年以降の各年12月31日に終了した連結会計年度

	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2017/12 <sup>*5</sup>	2018/12	2019/12	百万円 2020/12	千米ドル 2020/12
<b>業績:</b>											
売上高.....	80,037	72,919	75,269	88,086	89,969	88,764	92,411	105,277	102,820	117,585	1,141,602
うち材料事業.....	66,644	67,697	72,866	84,611	87,280	86,558	90,531	102,621	98,986	114,773	1,114,306
うち装置事業.....	13,392	5,222	2,402	3,475	2,689	2,205	1,880	2,655	3,833	2,811	27,295
営業利益.....	6,102	7,872	10,025	13,253	12,438	9,954	9,194	10,505	9,546	15,589	151,354
税金等調整前当期純利益.....	6,577	8,031	11,666	14,301	11,777	9,220	9,492	9,814	8,657	15,349	149,026
親会社株主に帰属する当期純利益.....	3,818	5,443	7,549	8,818	7,716	6,343	6,007	6,875	5,410	9,926	96,375
フリー・キャッシュ・フロー.....	(6,641)	12,363	(2,610)	3,380	7,517	(926)	4,169	6,298	(4,543)	19,472	189,050
設備投資額.....	3,162	5,332	14,577	7,276	5,919	9,378	6,731	5,636	14,184	5,611	54,478
減価償却費.....	4,038	3,758	2,672	4,276	5,631	6,118	6,035	7,063	7,216	6,772	65,753
研究開発費.....	6,157	6,211	6,389	6,903	7,015	8,207	6,921	8,526	8,879	9,545	92,677
<b>1株当たり情報 (円/米ドル):</b>											
1株当たり当期純利益.....	84.86	121.69	168.54	196.61	177.30	146.18	138.31	164.92	130.02	239.42	2.32
1株当たり年間配当.....	38.00	44.00	52.00	60.00	64.00	64.00	64.00	96.00	120.00	154.00	1.49
1株当たり純資産.....	2,641.28	2,796.37	3,044.24	3,285.81	3,298.00	3,384.14	3,490.97	3,459.37	3,491.23	3,651.20	35.44
<b>年度末財政状態:</b>											
総資産.....	138,767	145,664	155,859	174,863	167,300	174,492	178,681	182,957	186,486	201,185	1,953,259
固定負債合計.....	2,613	2,811	1,518	3,569	2,899	2,024	3,421	10,723	14,437	15,997	155,317
有利子負債.....	610	488	366	814	534	135	—	10,000	11,272	10,962	106,432
純資産.....	119,590	127,838	139,962	151,999	147,270	152,931	153,517	150,857	151,733	159,994	1,553,343
<b>経営指標 (%):</b>											
営業利益率.....	7.6	10.8	13.3	15.0	13.8	11.2	9.9	10.0	9.3	13.3	13.3
ROE.....	3.3	4.5	5.8	6.2	5.3	4.4	4.1	4.7	3.7	6.7	6.7
売上高研究開発費比率.....	7.7	8.5	8.5	7.8	7.8	9.2	7.5	8.1	8.6	8.1	8.1
自己資本比率.....	85.1	85.9	87.5	84.3	85.1	84.6	82.2	78.8	77.5	75.3	75.3
D/Eレシオ(倍).....	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.08	0.07	0.07
配当性向.....	44.8	36.2	30.9	30.5	36.1	43.8	46.3	58.2	92.3	64.3	64.3
DOE.....	1.5	1.6	1.8	1.9	1.9	1.9	1.9	2.8	3.5	4.3	4.3
<b>ESG関連データ:</b>											
連結従業員数(人).....	1,443	1,487	1,505	1,540	1,564	1,596	1,611	1,673	1,726	1,750	1,750
CO <sub>2</sub> 排出量(エネルギー使用量から換算)(万t) <sup>*6</sup> .....	3.0	3.4	3.3	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	3.0	3.1	3.1
<b>業界動向:</b>											
世界の半導体市場規模(百万米ドル) <sup>*1</sup> (暦年).....	291,562	305,584	335,843	335,168	338,931	412,221	468,778	412,307	440,389	527,223 <sup>*3</sup>	527,223 <sup>*3</sup>
世界のフォトレジスト販売金額(千米ドル) <sup>*2</sup> .....	1,279,706	1,152,306	1,288,713	1,230,022	1,358,009	1,504,224	1,504,224	1,631,851	1,679,654	2,027,350	2,027,350
為替相場(円/米ドル) <sup>*4</sup> .....	82	94	103	120	112	112	113	111	109	103	103

半導体需要が拡大する中、  
ロングランの研究開発と戦略投資の  
成果を刈り取り、過去最高業績を達成

自己資本比率:  
85%前後を長期にわたり維持  
してきましたが、バランスシ  
ートマネジメントの強化により、  
自己資本比率の低減も視野に  
入れたベストバランスの追求  
を続けています。  
(→P46-49  
【CFOメッセージ】ご参照)

CO<sub>2</sub>排出量:  
2020年1月より本社の使用  
電力を100%再生可能エネル  
ギーに変更するなど各種低減  
策により、原単位指数は着実  
に減少しています。  
(→P98-99  
【脱炭素】に向けた気候変動  
問題への対応】ご参照)

\*1 出典:世界半導体市場統計 \*2 SEMI の集計を基に当社算出(ArF、KrF、g/i線用フォトレジストの合計販売金額)。決算期変更に伴い、2017/3期と2017/12期は同一数値を記載しています。  
\*3 2021年の予測数値 \*4 各会計年度の末日時点 \*5 決算期変更に伴い、2017年12月期は国内9ヵ月、海外12ヵ月の変則決算となっております。

\*6 単体および国内連結子会社。決算期変更に伴い、2013年以降を1~12月、2012年を4月~3月の集計で表示しております。これに伴い、2017/3期と2017/12期は同一数値を記載しています。

## 2020年12月期の市場動向および業績・財政概況、次期業績予想

### 事業環境

当期(2020年12月期)の世界経済ならびに日本経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行に伴い経済活動が抑制されたことにより、前年の景気を下回る状況となりました。

米ドル円為替相場は、2月までは前年の米国の政策金利の引き上げに伴うドル高・円安トレンドが続いたものの、3月以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響等により米ドル以外の主要国通貨へ資金が流出したことなどから、円高トレンドが続きました。

### 売上高および営業利益

当期(2020年12月期)の連結売上高は、前期比147億65百万円(14.4%)増加の1,175億85百万円となりました。このうち、上期の売上高は、前期比82億71百万円(16.9%)増加の572億3百万円、下期の売上高は、前期比64億93百万円(12.1%)増加の603億81百万円となりました。

当社グループ製品の主な需要先である半導体やディスプレイをはじめとするエレクトロニクス市場においては、5GやIoT等の普及に加え、テレワークの増加やクラウドサービス利用の拡大等により、PCやデータサーバー向けの半導体需要が堅調に推移しました。

売上原価は、前期比67億67百万円(9.7%)増加の763億72百万円となり、売上原価率は、前期比2.7ポイント下降し65.0%となりました。これにより、売上総利益は、前期比79億96百万円(24.1%)増加の412億12百万円となりました。

販売費及び一般管理費は、前期比19億53百万円(8.3%)増加の256億23百万円となりました。

営業利益は、高付加価値製品の売上増加に加え、原油価格下落に伴う原材料費低減や減価償却費等の経費減少により、前期比60億43百万円(63.3%)増加の155億89百万円となりました。

### 税金等調整前当期純利益、親会社株主に帰属する当期純利益

税金等調整前当期純利益は、出資金評価損の減少等により、前期比66億92百万円(77.3%)増加の153億49百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比45億16百万円(83.5%)増加の99億26百万円となりました。

### セグメント別業績

前期(2019年12月期)より、事業別の業績をより適切に評価管理するため、費用の配賦方法を変更し、全社費用の一部を材料事業へ配賦しています。

### 材料事業セグメント:

当事業の内部取引を除いた売上高は、前期比157億86百万円(15.9%)増加の1,147億73百万円、営業利益は69億33百万円(51.5%)増加の203億95百万円となりました。これは、エレクトロニクス機能材料部門、高純度化学薬品部門の販売が好調に推移したことが主な要因です。

### ■エレクトロニクス機能材料部門

エレクトロニクス機能材料部門の売上高は、前期比76億29百万円(13.1%)増加の658億78百万円となりました。これは、中小型液晶パネルの需要環境が変化したことにより、ディスプレイ用フォトレジストの売上が減少したものの、PCやデータサーバー向けなどの旺盛な半導体需要に支えられ、アジア地域において半導体用フォトレジストや高密度実装材料の販売が好調に推移し、売上が増加したことが主な要因です。

### ■高純度化学薬品部門

高純度化学薬品部門の売上高は、前期比80億58百万円(19.8%)増加の487億32百万円となりました。これは、中小型液晶パネルの需要環境が変化したことにより、ディスプレイ用フォトレジスト付属薬品の売上が減少したものの、最先端半導体製造プロセスに使用される台湾向けの半導体用

フォトレジスト付属薬品の販売が好調に推移し、売上が増加したことが主な要因です。

### 装置事業セグメント:

#### ■プロセス機器部門

プロセス機器部門の内部取引を除いた売上高は、前期比10億22百万円(26.7%)減少の28億11百万円となり、営業損失は前期比23百万円増加し3億10百万円となりました。これは、ウエハハンドリングシステム「ゼロニュートン®」や半導体製造装置の検収が前期を下回ったことが主な要因です。

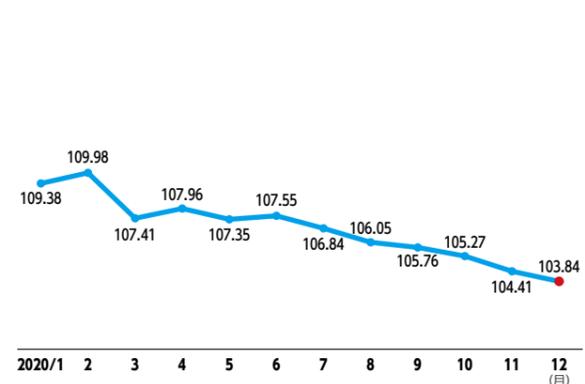
### 財政状態

当期末(2020年12月31日)の資産合計は、前期末比146億99百万円増加の2,011億85百万円となりました。

流動資産は、前期末比36億61百万円増加の969億43百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が24億15百万円、現金及び預金が14億16百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

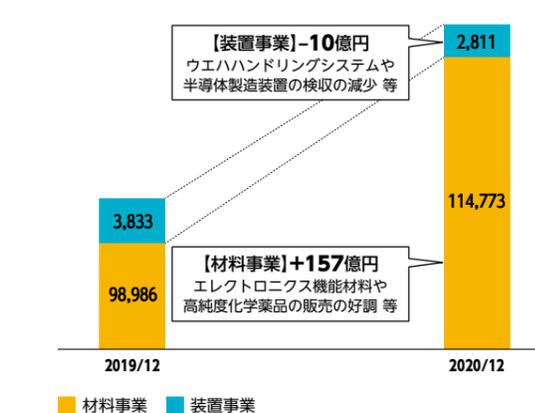
固定資産は、前期末比110億38百万円増加し、1,042億42百万円となりました。これは、投資その他の資産における長期預金が100億円、投資有価証券が27億89百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

為替レート(円/米ドル、月中平均)

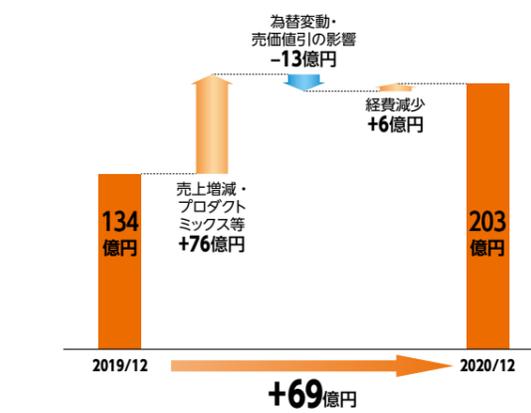


出典:三菱UFJリサーチ&コンサルティング

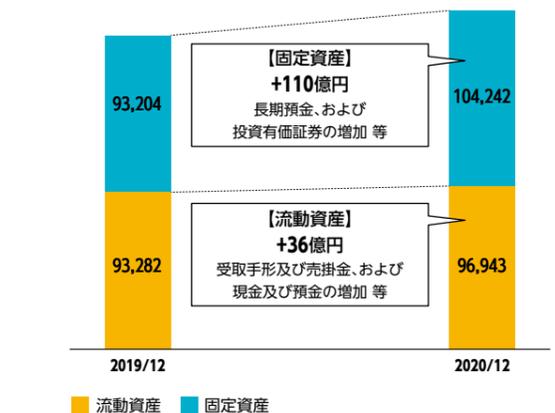
セグメント別売上高2期比較(百万円)



材料事業セグメント 営業利益の増減内訳



総資産2期比較(百万円)



主要データの推移および分析

当期末の負債合計は、前期末比64億38百万円増加の411億91百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が34億円、繰延税金負債が11億58百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

当期末の純資産合計は、前期末比82億60百万円増加の1,599億94百万円となりました。これは、配当金の支払により50億7百万円減少したものの、親会社株主に帰属する当期純利益99億26百万円を確保したことが主な要因です。

この結果、当期末の自己資本比率は75.3%となりました。

キャッシュ・フロー

当期の営業活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ102億9百万円増加の229億53百万円の資金収入となりました。これは、税金等調整前当期純利益が66億92百万円、仕入債務の増減額が39億37百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ138億5百万円減少の34億81百万円の資金投下となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が88億92百万円減少したことが主な要因です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ1億48百万円増加の59億37百万円の資金支出となりました。これは、長期借入れによる収入が13億72百万円減少した一方、自己株式の取得による支出が13億69百万円減少したことが主な要因です。

これらの活動の結果、現金及び現金同等物の残高は、前期末の292億29百万円から134億98百万円増加の427億28百万円となりました。

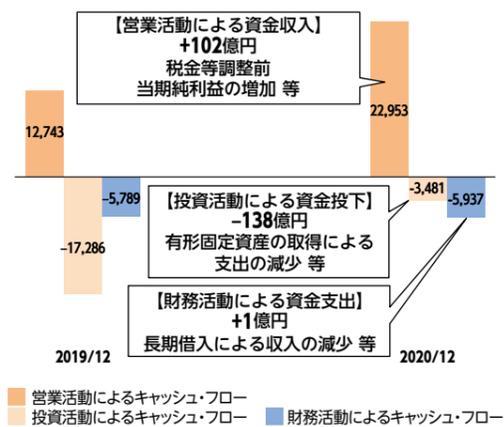
2021年12月期の見通し\*

2021年12月期の売上高は、円高の影響等を織り込むものの顧客の高い設備稼働率は前年から続くことを見込み、2020年12月期比4.3%増の1,226億円を予想しています。

営業利益については、高純度化学薬品等の原材料費の増加が見込まれるものの、高付加価値製品の売上増加等により同5.8%増の165億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益の増加や特別損益の改善等から同8.8%増の108億円を予想しています。

\* 2021年2月15日に公表した数値を記載しています。

■ キャッシュ・フロー2期比較(百万円)



■ 次期業績予想\*

	2020年12月期	2021年12月期予想	
		増減	増減率
売上高	117,585	122,600	+5,015 +4.3
営業利益	15,589	16,500	+911 +5.8
親会社株主に帰属する当期純利益	9,926	10,800	+874 +8.8

\* 2021年2月15日に公表した数値を記載しています。

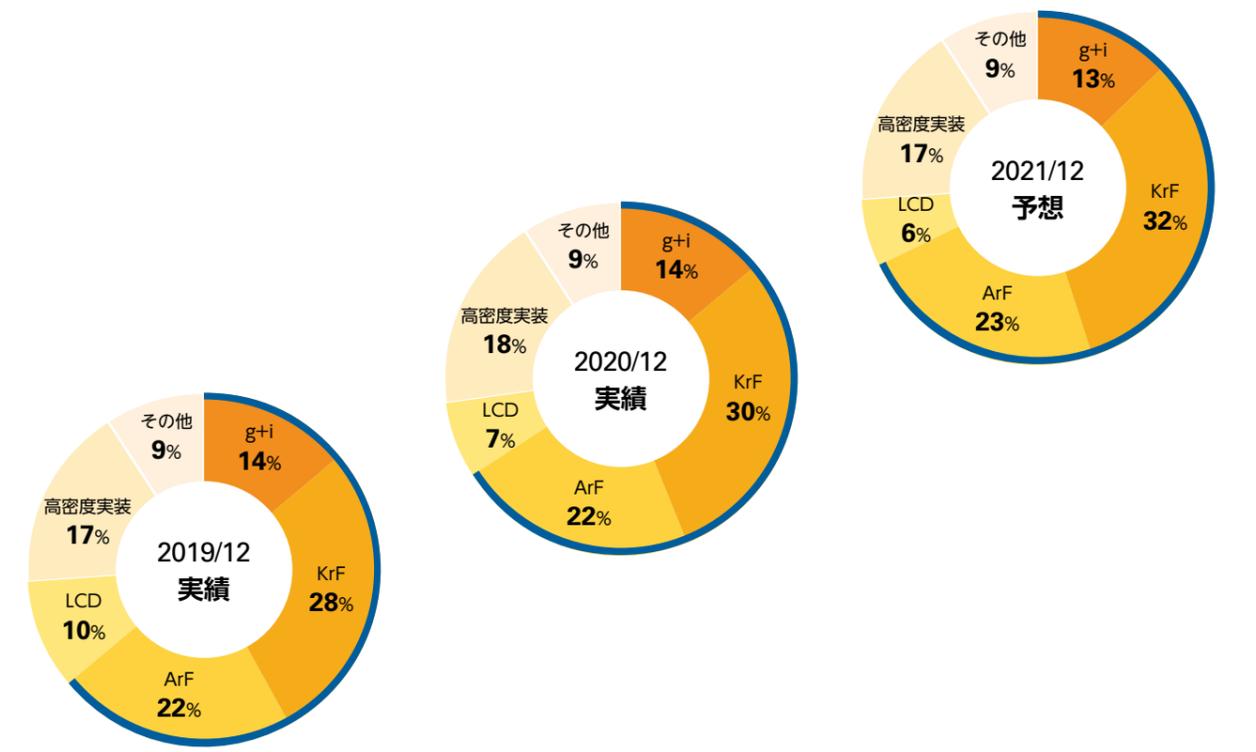
ご参考:エレクトロニクス機能材料&半導体用フォトレジスト関連情報

半導体の微細化において、多様な回路線幅に対応する東京応化のフォトレジスト

	i線用フォトレジスト	KrF用フォトレジスト	ArF用フォトレジスト	EUV用フォトレジスト
リソグラフィ用光源	i線	KrF(フッ化クリプトン)エキシマレーザー	ArF(フッ化アルゴン)エキシマレーザー	EUV(極紫外線)
光源の波長	365nm(i線) 長い	248nm	193nm	13.5nm 短い
半導体の回路線幅*	350nm>~≥250nm 広い	250nm>~≥130nm	130nm>~≥10nm	10nm>~ 狭い
主なアプリケーション/最終製品等	自動車向けパワー半導体 センサー LED等	普及型スマートフォン 高性能サーバー ゲーム機等	最新型スマートフォン ウェアラブル端末 高性能サーバー等	次世代スーパーコンピュータ 次世代通信システム等

\* 主要レンジのみ表示

エレクトロニクス機能材料の種類別売上構成比の推移



\*1 EUV用フォトレジストは「その他」に区分  
\*2 高密度実装=パッケージ材料およびMEMS材料